

安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No. 1
2018.3.1

発行 = 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先:伊東市職労付 〒414-0046 伊東市大原 2-1-1 Tel.0557-37-9134 Fax.0557-37-1347

伊東の目標は
15000
5月末まで

3、4月を推進月間に設定し

署名・対話を急いで広げ

当面、5000筆を突破しよう

事務局には、「寒風に負けず地域を決めて一軒一軒訪ねて署名をもらっている」「お店のカウンターにおいてアピールしている」「知り合いに手紙と返信用封筒をつけて署名を送ってもらった」など、様々な取り組みで一步をふみだした経験が寄せられています。2月27日には八幡野港付近で戸別署名行動が行われ、8人が参加して60筆を集めました。この日も参加し、これまでに一人で200筆を集めた三好康昭さんは、「一回の訪問活動ではたいして集まりませんが、回数を増やせば自然に署名が増えます。根気強く声をかけ、足を運び、地道に広げる努力をすること—これが誰にでもできて最も有効な、「市民活動の王道」ではないでしょうか。」と語ってくれました。全体としては本格的にはこれから、ということなのです。安倍首相は、「憲法改正をいよいよ実現するときに迎えている」と公言し、年内にも発議をねらい、本気で憲法9条を葬り去ろうとしています。日本の命運がかかった歴史的岐路を迎え、いま起ちあがりましょう！

現在の署名数

1037筆

※3/1 現在事務局把握分

憲法講演会 (2/25) 開催

安倍改憲の危険性学び、署名飛躍の結節点に

2月25日、ひぐらし会館ホールで一橋大学名誉教授の山内敏弘先生をお迎えし、90人が参加して憲法講演会が行われました。山内先生の、年齢を感じさせないハッキリと分かりやすいお話は、改憲のねらいと署名を広げる上でのヒントを大いに学び合うことが出来、積極的な感想が多く寄せられ、飛躍的に署名を広げる決意を固め合う場となりました。(以下抜粋)



「自衛隊を加憲するとどうなるか、よくわかりました」「日米安保の存在が浮き彫りになり、今後の運動を進める上で非常に大切な点を教えられた」「九条改憲によって市民生活がどのように変わることがわかって、恐ろしさとともに知らせていかなければと思った」 (以上)

「自衛隊を加憲するとどうなるか、よくわかりました」「日米安保の存在が浮き彫りになり、今後の運動を進める上で非常に大切な点を教えられた」「九条改憲によって市民生活がどのように変わることがわかって、恐ろしさとともに知らせていかなければと思った」 (以上)

「街頭署名行動」

のお知らせ

行動日: 3月10日(土)

時間: 午後2時~3時

場所: 「湯の花通り」
(伊東駅前、大黒屋十字路)



どなたも自由にご参加ください

お願い 集めた署名は、随時、事務局(上記記載)へ上げてください。

団体で集約された場合は筆数を事務局へお知らせください。

私の好きな憲法の言葉、募集

◆皆さんは、「日本国憲法」のなかでどの言葉が一番好きですか。平和主義の理想を謳った九条でしょうか。全世界の国民が平和のうちに生存する権利があることを宣言した「前文」の一節？それとも、「個人として尊重される」と、国家から個人への価値の転換を宣言した13条でしょうか。

憲法は一つ一つの条文が積みあがってできていますが、同時に、全体としてある「まとまり」を持っています。これを体系性といってもいいし、憲法の個性と言ってもいいでしょう。九条を守る運動は、九条だけでなく憲法の個性=価値を擁護することでもあります。憲法の価値は前文に始まって、いろいろな条文の中にちりばめられています。その中から好きな言葉、大切にしたい条文をピックアップして、「私たちの憲法」作りませんか。「私たちの憲法」は、私たちにとって「日本国憲法」がどんなに大切な価値を持っているかを明らかにします。そして、広い意味で「九条改憲 NO!」の運動に連動しています。

★以上の趣旨で、原稿執筆を「伊東市民アクション」会員の方をお願いして、「日本国憲法—わたしの好きな言葉」と題する小冊子を作ることになりました。要領は以下の通りです。

- ①「日本国憲法」の全条文(前文と条文)を同封(or 添付)しました。これを見て、私の好きな言葉、のちの世代に残したい言葉(文章 or 条文)を一つだけ選んでください。
 - ②その言葉を選んだ理由、好きな理由を書いてください。
- ※①と②を合計して、**250 字以内**にまとめてください。匿名希望の方はその旨をお書きください。
- ③メールを使う人はメールに添付して、以下のアドレスに送信してください。

miyog341g3@amber.or.jp 三好康昭

- ④メールを使わない人は、「好きな言葉」を書いて同封の返信用封筒で投函してください。
- ⑤締め切り期限は3月21日(水、春分の日)とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

「伊東市民アクション」事務局 三好康昭